

環境目標：地域と共に環境・資源を守る三ヶ島小

～地域の環境を生かして学習し、地域の自然を守る大切さを学ぶ～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

森の落ち葉をたい肥として利用した循環型の農園づくりを行うとともに、児童の主体的な活動となるよう実施方法と工夫した。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

循環型の農園づくりにより農園づくりを行っている。また、地域の自然の豊かさに気づき、地域の自然を守ることが地球温暖化防止に役立つことを考えさせた。

＜主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

環境委員会による自然環境を整えるための活動を児童が積極的に行っていた。花壇への水やりや生活環境を整えるための活動を児童自らが取り組むことができた。節電・節水に対する呼びかけも行い、節電・節水に対する意識を高めることもできた。

地域の自然を生かして各学年で地域の環境を生かした体験活動を行った。3年生は地域のお茶園の協力を得て、茶摘み体験をした。



5年生は八幡湿地保存会の協力により稲刈り体験をした。地域が自然豊かな場所であることを学び、それが地球温暖化防止につながることを体験することで学ぶことができた。

2 《みどり・生物多様性》

むくろじ農園では農園協力隊の方の協力を得て、各学年（1～5，こすもす学級）が農業体験をすることができた。季節に応じた野菜を栽培し、収穫することを通して植物の生長や植物を育てる大切さを学習することで、環境保全の意識を高めることができた。



3 《資源循環》

家庭で出たアルミ缶や古紙を回収する活動を行っている。今年もたくさん回収することができた。児童が資源リサイクルの仕組みや意味を学習することで、「資源を循環させる」ことの意義を意識させることに役立っている。